

令和3年度 レク森座談会要旨（主催：厚沢部町教育委員会、共催：土橋自然観察教育林連絡協議会）

1 開催日時 令和3年12月16日（木）18:30～19:50

2 開催場所 図書館視聴覚室

3 参加者 4名

4 出席者 教育委員会事務局4名 土橋自然観察教育林連絡協議会員2名 関係機関1名

事務局		会員		関係機関	
教育委員会主幹	安田 光	会長	須賀 貞樹	農林課林業振興係長	藤 八 伸太郎
社会教育係長	板 坂 勇	副会長	鈴木 晃子		
社会教育係	富 塚 龍				
社会教育係	増 田 廉				

5 開会・趣旨説明

厚沢部町の貴重な財産であるレクの森の管理運営状況を皆さんに知っていただき、町民の皆さんから幅広くご意見を伺いながら、今後の運営に活かし、より良いものとするために開催するもの

6 レクの森管理運営状況（別紙資料のとおり）

（1）巡回監視 （2）遊歩道・木橋等管理 （3）教育林講座 （4）希少植物調査 （5）連絡協議会運営

7 質問&フリートーク

（1）参加者からの主な意見等

- 町にこのような森があるというのはありがたいことだと思う。レク森を歩くのは好きだがクマが怖くてなかなか行けなかった。こうやって手をかけてくれてすごく感謝している。
- レク森は暗くて入りづらく怖い。町民がさらに行きやすいようにしてもらいたい。
- 遊歩道の整備は重要。自然のままにすることも重要だが、山をきちんと管理すべきである。植樹を計画的に行うなど山を管理することなど子どもたちに伝えていかないといけない。木工クラフトなどの体験により子どもたちに興味を持ってもらうことも必要。
- 子どもたちのためにも木育イベント「レク森を楽しもう」などの企画は是非1回でも多く開催してほしい。
- テニスコートやいろんな施設を整備して一日中遊べて、人がたくさん来るような整備をしたらいいと思う。
- 今年、ホームページに花の写真や遊歩道の巡回結果を掲載していてすごく良かったが、ホームページでの周知なく閉鎖していたことがあった。現地まで来た人が非常に残念な思いをしていた。
- ⇒ 森林展示館管理人がキャンプ場閉鎖後の作業を行っていた際、入林届を提出しないでレクの森に入るなどの行為があったため、現地の判断により一時封鎖していた。（その後、キャンプ場所管課と協議して封鎖を解除した。）
- 入林者のアンケートはとっているか？
- ⇒ 来年度、現地で「ご意見箱」などの設置を検討している。

(2) 連絡協議会委員からの主な意見等

○ 4月の開設に係る周知が遅い。

⇒ 3月下旬に遊歩道等の現地確認調査を行い倒木等の処理を行う必要がある。処理作業次第ではあるが、なるべく早めに入林できるようにしていきたい。

○ コーディネーターがいなくなって不便になった。発信できる専門家が必要。

8 閉 会